（仮称）中部圏広域地方計画協議会準備会
－議事要旨－

日時　平成 18 年 8 月 2 日（水）12:20～12：50
場所　ウェスティンナゴヤキャッスル
2 階「金の間」

１．開会（司会：福田企画調整官）

２．議事
・国土形成計画について

〇渡邉国土計画局長
・昨年の通常国会で、国土形成計画法が成立し、国土計画は全国計画と広域地方計画の計画体制になった。
・全国計画は、今秋に中間取りまとめ、来年の中頃に閣議決定をする予定である。
・広域地方計画は、地域が自ら将来像を描き、自立的な発展を目指すことを目的としており、広域地方計画協議会が中心となり策定を行っていく。
・去る 6 月 30 日に国土審議会で広域地方計画の区割りについて取りまとめを行い、7 月 7 日に施行された政令で、中部圏は長野県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県の５県が設定された。
・中部圏は、わが国の産業経済の牽引役として一層の発展が期待されている地域であり、中部国際空港の開港や愛・地球博の開催を契機とした、世界的な交流が期待されている地域である。
・さらに、まんなかビジョンの策定等、圏域を越えた取り組みの実績があり、このような地域で、全国に先駆けて広域地方計画の準備会が設立されることは、大変期待が大きく、ぜひ全国の手本となるような積極的な検討をお願いしたい。
・国土審議会では、日本海と太平洋の両海洋を活用した広域物流体系や国際観光ルートの構築、山岳地域の国土の保全管理の一体的推進などで中部圏と北陸圏の連携を重要視しているため、隣接県も含めた柔軟な取り組みをお願いしたい。
・国土計画局としても、全国計画に各圏域の意向をできるだけ反映したいと考えており、国土審議会での審議状況などの情報提供等、準備会での審議に積極的に協力していきた

いと考えている。

・本準備会において、活発なご審議とご議論をお願いしたい。

・(仮称)中部圏広域地方計画協議会準備会の設立主旨(案)について

〇資料説明：(津森計画管理課長)

・(仮称)中部圏広域地方計画協議会準備会会長選出

〇会長に神田愛知県知事を選出

・会長の挨拶

〇神田愛知県知事

・今回の新しい計画づくりを二つの点で高く評価している。

・一点目は、広域地方計画を国と地方が対等の立場で協議するということである。現在、私どもは地方分権を進めているところであり、具体的な計画づくりで、ぜひそのような考え方で進めていただきたいと考えている。

・広域地方計画には５県が関わるが、GDP などはヨーロッパの中規模の国に相当するものであり、大変ポテンシャルが高く、経済力のある地域である。そのような地域で国の将来像や地域の将来像を経済界も含めて検討していく。一緒に協議しながら素晴らしい計画づくりを進めていきたい。

・今後のスケジュールについて

〇資料説明：(鈴木広域計画課長)

・質疑

〇特になし

３．閉会（司会：福田企画調整官）

以上